

平成 23 年度 事業報告

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 5 月 31 日まで)

【 総括 】

平成 23 年度は、横須賀芸術劇場の指定管理期間の第 2 期（平成 22 年度から 4 年間）の 2 年目（第 1 期から通算して 6 年目）に当たる。

当財団は、平成 23 年 6 月 1 日付け公益財団法人へ移行したため、5 月 31 日をもって特例財団法人としての事業年度を終了した。

今期は、僅か 2 ヶ月であったため、平成 23 年度事業計画の一部を実施するとともに、6 月以降に予定する事業の準備期間となったが、自主公演事業及び貸館事業においては、アンケートを通じ高い評価を得るとともに、収支面においても当初予測に比べ良好に終わるなど成果を残した。

また、育成事業として「第 14 回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声 2011』オーディション in YOKO SUKA」を開催し、ドイツ本選に向けたオーディションの場としてその役目を果たした。

6 月 1 日から公益財団法人としての事業年度を開始するにあたり、引き続き各事業を効率的に展開し、地域の活性化及び芸術文化の振興を図り、常に地域に親しまれる劇場を目指していくという当財団の使命を達成すべく更に邁進していく。

1 一般会計の事業概要

(1) 施設管理運営事業

ア 横須賀芸術劇場の施設管理及び運営業務の実施

劇場の指定管理者として、施設管理及び運営業務を行った。（指定管理期間は、平成 22 年度から 25 年度までの 4 年間）

日常点検や定期保守等により、安全で快適な施設環境の維持に努めたほか、空調及び照明をより計画的に運転するなど、経常経費の節減に努めた。

- (ア) 舞台技術業務（舞台、音響、照明）
- (イ) 設備管理業務（舞台、空調、エレベーター等）
- (ウ) 警備、清掃業務
- (エ) その他の関連業務

イ 公益法人制度改革に伴う事前準備の実施

神奈川県知事から 5 月 20 日付けにて公益財団法人としての認定が下りたため、6 月 1 日付け特例財団法人の解散並びに公益財団法人の設立の登記に向け準備を行った。

(2) 芸術普及事業（資料 1 「自主公演事業実績」のとおり）

ア 自主公演事業の実施

劇場が、地域の賑わいを生む交流の場、文化発信の拠点として更に飛躍するよう、舞台・音楽芸術を提供することにより、地域の活性化に努めた。

施設名	事業数	公演数	入場者数
よこすか芸術劇場（大劇場）	3 事業	4 公演	5,962 名
ヨコスカ・ベイサイド・ポケット（小劇場）	1 事業	2 公演	525 名
合計	4 事業	6 公演	6,487 名

(ア) 舞台・音楽芸術の「提供」（4 事業 6 公演）

あらゆる世代のニーズに応えるべく、様々なジャンルの公演を鑑賞できる環境づくりに努めた。内容、質ともに高い公演を可能な限りリーズナブルな入場料金に設定し、より多くの市民が鑑賞機会を得られるよう努めた。

また、その他貸館公演として、J ポップ、お笑いライブをはじめ、幅広いジャンルの公

演を招致したことにより、豊富なラインアップの中から広く提供することができた。

<自主公演>

- 松任谷由実コンサートツアー2011 (邦楽ポピュラー)
- 鼓童 ONE EARTH TOUR 2011 (邦楽)

<共催公演>

- 狂言ユニット HANAGATA (古典芸能)
- 東京交響楽団 横須賀特別演奏会 (クラシック)

<主な貸館公演>

- Jポップ 遊輔、ドリームモーニング娘、より子 ほか
- お笑い アームストロング、爆笑バトルライブ ほか
- クラシック フジコ・ヘミング ほか

(3) 芸術団体育成事業 (資料2「芸術団体育成事業実績」のとおり)

ア 市民の文化活動の支援及び育成

(ア) 横須賀芸術劇場合唱団の運営

市民の文化活動の一端を担うべく、劇場専属合唱団を横須賀芸術劇場合唱団、少年少女合唱団の2コースで構成し、少年少女合唱団については、プロの指導者のもと更なるレベルアップと活動の充実を図った。(横須賀芸術劇場合唱団については、7月に練習を開始する。)

練習の成果は、定期演奏会のほか、アウトリーチ活動などを通じ発表していく。

合唱団名	団員数	演奏会等回数
横須賀芸術劇場合唱団	320名(予定)	7月から練習開始
横須賀芸術劇場少年少女合唱団	138名	アウトリーチ活動は期日延期

イ 演奏会の支援及び育成

(ア) 「第14回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声2011』オーディション in YOKOSUKA」の開催

10月に開催される「新しい声2011」ドイツ本選に向けオーディションを開催した。開催経費の見直しを図り形態を新しくして実施したが、従来どおりの応募者数を維持するとともに、優秀者2名を本選に選出することができた。

オーディションは無料一般公開とし、期間中250名が訪れた。

(イ) 「フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ」リサイタル・シリーズの開催準備

選定委員と当財団が将来性のある若手演奏家2名を選出し、リサイタルの開催に向け準備を行った。

また、フレッシュ・アーティスト・サポートメンバーズにより、出演者の支援体制を整えた。会員数は133名。

ウ 次世代の文化の担い手の育成

(ア) 実施公演に関連するワークショップの開催

実施公演に関連するワークショップを行い、年齢を問わず気軽に参加できる機会を設け、舞台・音楽芸術への関心を高める機会の提供並びにチケットの販売促進を図った。

<実施したワークショップ>

- 東京バレエ団「白鳥の湖」出演ダンサーによるワークショップ

6月に予定する本公演に先立ち、上演演目の魅力解説と、プロのバレリーナを目指す学生たちを対象とした公開レッスンを行った。参加者数110名のうち、24名がレッスンに参加し、著名なバレエ団のダンサーから直接指導を受ける貴重な機会を提供した。

(4) サービス事業

ア チケット販売事業の展開

より多くの市民が公演を鑑賞する機会に恵まれるよう、チケット販売の代行業務を行う公演数の増加を図るとともに、個人、団体を問わず広く販促に努めた。

- (ア) 自主公演をはじめとする公演のチケット販売の代行業務の実施
- (イ) 横須賀美術館年間パスポートなど、劇場公演以外のチケットの受託販売の実施

イ 友の会運営事業の展開

市民と劇場を結び、市民が劇場をより身近に楽しめるよう芸術劇場友の会を運営した。会員数は 6,767 名。

- (ア) 会員向け特典の実施
 - ・ダイレクトメールによる情報提供
 - ・チケットの優先販売、割引販売及び無料配送
 - ・無料招待公演の実施に向けた準備
- (イ) 会員数増加のための活動

ウ 劇場内サービス事業の展開

観客が劇場で快適に過ごせるよう、公演に付随し劇場内サービスを提供した。

- (ア) カフェ・カウンターの営業（飲食品の販売）、芸術劇場オリジナル商品の販売、オペラグラスの貸出し
- (イ) 託児サービスの提供（自主公演のみ、3公演12名）

(5) 貸館事業（資料3「貸館事業実績」のとおり）

利用申請の受付及び施設利用料の徴収業務を行った。

東日本大震災の影響によりサークル等による利用及びその収入が減少し、稼働率も当初見込みを下回る結果となった。有事の際の対応や施設の安全性を周知するなど、引き続き利用促進に努めていく。

施設名	利用可能日数	利用日数	稼働率
よこすか芸術劇場（大劇場）	51日	31日	60.8%
ヨコスカ・ベイサイド・ポケット（小劇場）	53日	30日	56.6%
大リハーサル室	56日	23日	41.1%
小リハーサル室	57日	43日	75.4%

(6) 劇場PR事業

ア 広報紙「横須賀芸術劇場ニュース」の発行（2回、発行1回につき477,515部）

※発行1回あたりの内訳

用途	発行部数
新聞折込み又はポスティング（毎月最終水～金曜日） [新聞折込] 三浦市、葉山町、横浜市南区 [ポスティング] 横須賀市、逗子市、鎌倉市、横浜市金沢区・磯子区・港南区・ 栄区、横浜市戸塚区及び藤沢市の一部	469,500部
その他（無料定期購読者への送付、劇場内での設置ほか）	8,015部

イ 公演チラシ、ポスターの作成及び掲示

- (ア) 京浜急行線「横須賀中央駅」、「汐入駅」の年間契約ボードへのポスターの掲示
- (イ) 他劇場への公演チラシの配布

ウ 新聞、音楽専門誌、ミニコミ紙への公演情報及び講評記事の掲載（4回）

エ 放送媒体による広報

オ 劇場ホームページの運営（アクセス数 65,634件）

(7) 駐車場管理運営事業

地下駐車場の管理及び運営業務を行った。

時間貸及び月極契約による利用の促進を図るとともに、安心、安全かつ快適な施設管理並びに利用者へのサービスの向上に努めた。時間貸利用台数は 6,603 台（うち二輪車は 69 台）。

(8) 舞台・音楽芸術に関する調査・研究等事業

公立文化施設協議会及び多面・大規模舞台劇場協議会（加盟 9 館）に参加し、公共ホールとの情報交換を行い、施設運営面等における改善を図った。

2 舞台・音楽芸術普及基金特別会計の事業概要

(1) 舞台・音楽芸術普及基金

舞台・音楽芸術普及基金（10 億 100 万円）の安全な運用管理を実施し、自主公演事業の補填財源の確保に努めた。

(2) 舞台・音楽芸術普及事業特定資産

舞台・音楽芸術普及基金の運用管理により取得した特定事業準備資金について、安全な運用管理を実施し、自主公演事業の更なる補填財源の確保に努めた。

平成23年度(4-5月期) 自主公演事業実績

1 よこすか芸術劇場(大劇場)

事業名	実施期日	主催	公演数	入場者数	公演ジャンル
松任谷由実コンサートツアー2011	4月15日(金)・16日(土)	自主	2	3,618	邦楽ポピュラー
鼓童 ONE EARTH TOUR 2011	5月27日(金)	自主	1	1,378	古典芸能
東京交響楽団 横須賀特別演奏会	5月29日(日)	共催	1	966	クラシック
小計	3事業(自主 2 共催 1) 4公演(自主 3 共催 1)		4	5,962	

2 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット(小劇場)

事業名	実施期日	主催	公演数	入場者数	公演ジャンル
狂言ユニット HANAGATA	4月23日(土)	共催	2	521	古典芸能
小計	1事業(自主 0 共催 1) 2公演(自主 0 共催 2)		2	521	

合計	4事業(自主 2 共催 2) 6公演(自主 3 共催 3)		6	6,483	
----	----------------------------------	--	---	-------	--

平成 23 年度（4 - 5 月期） 芸術団体育成事業実績

1 市民の文化活動の支援及び育成

(1) 横須賀芸術劇場合唱団の運営

ア 横須賀芸術劇場合唱団

7月から練習開始

イ 横須賀芸術劇場少年少女合唱団

団員数	138名		
指導者	武田雅博 / 渕上千里		
練習期間	4月7日(木)～5月26日(木) 6回 ※原則として、毎週木曜日		
練習場所	大・小リハーサル室		
発表公演	1	事業名	高齢者福祉施設訪問コンサート
		実施期日	4月23日(土) → 東日本大震災の影響により、10月に延期
		会場	衣笠ホーム (横須賀市芦名)
		指揮	武田雅博
		ピアノ	渕上千里
		演奏曲目	早春賦 / ふるさと ほか

2 演奏家の支援及び育成

(1) 「第14回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声2011』オーディション in YOKOSUKA」の開催
次頁参照

(2) 「フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ」リサイタル・シリーズの開催準備

3 次世代の文化の担い手の育成

(1) 実施公演に関連するワークショップの開催 【写真A】

「第14回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声 2011』オーディション in YOKOSUKA」の開催結果について

本コンクールは、若く才能ある歌手を発掘・育成し、彼らの国際的キャリアの道を拓くことを目的として、ベルテルスマン財団（ドイツ）が1987年（昭和62年）から隔年で開催している。

出場者は、世界約20都市で開催されるオーディションを通過し、ドイツで開催される本選に進出する。

本選では、ドイツをはじめとする世界のオペラハウスの芸術監督、エージェントや音楽メディアの代表の前で歌を披露する機会に恵まれるため、新しい契約や今後の出演依頼を受ける貴重な機会にもなる。

当財団では、本コンクールの趣旨に賛同し、同財団との共催により1997年（平成9年）からオーディション（予選）を開催している。

「オーディション in YOKOSUKA」では、本選への上場者を選出するほか、特に優秀な歌手には当財団の自主公演事業に出演する機会を提供するなど、コンクール後の音楽活動においても支援していく。

審査員は、ブライアン・ディッキー氏（シカゴ・オペラ・シアター総監督、オーディション予選監督）。

○開催結果

・応募者数 75名 ・延べ入場者数 250名

日 程	5月12日（木）～ 5月13日（金）
出 場 者 数	64名（男性 14名 / 女性 50名） ※国籍 日本 61名 / 韓国 1名 / 台湾 2名

※演奏されたアリア 109曲（53のオペラ作品より）

○オーディション結果

本選への上場者（五十音順）	声 種	国 籍（出身地）
上田 純子 [写真上]	ソプラノ	日本（栃木県真岡市）
田川 聡美 [写真下]	ソプラノ	日本（神奈川県川崎市）



オペラオーディション
本選懸け熱気満ち 横須賀

「第14回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声』2011」のオーディションの熱気満ちた様子。横須賀市本町のよこすか芸術劇場で2日間の日程で始まった。出場者は10月にドイツで行われる本選の出場を目指し、力強い歌声を会場に響かせた。

ドイツのベルテルスマン財団と横須賀芸術文化財団の共催。無料で会場を開放している。

同コンクールは、ベルテルスマン財団が若手オペラ歌手の発掘や育成を目的に1987年から隔年で主催。世界各地で予選が行われている。横須賀で97年からアジアを主催し、これまで20人の歌手を本選に送り出した。

日本人1人のほか、台湾、韓国から計75人が参加。例年は100人近くが参加するが、今年は東日本大震災の影響で海外からの応募が減少したという。

出場者は約350曲の楽曲の中から自身が選出した曲目をピアノ伴奏に合わせ披露。発表は出場者の美しい歌声に聞き入っていた。審査結果は、2日間のオーディション終了後に出場者本人にメールで通知される。

問い合わせは、横須賀芸術文化財団 046-828-1602。
(一部 エレン)

美しい歌声を披露する出場者
—よこすか芸術劇場

写真A

東京バレエ団「白鳥の湖」
出演ダンサーによるワークショップ

もっと知りたい、触れたい「白鳥の湖」の魅力
～東京バレエ団ダンサーによるバレエトーク&公開レッスン～

4月23日(土)

【講師】佐伯美香 / 吉川留衣 / 長瀬直義
【内容】第1部 バレエトーク「永遠に変わらない名作の魅力」
第2部 ダンサーによる公開レッスン



平成23年度(4-5月期) 貸館事業実績

1 月別利用状況

(1) 区分貸施設

		よこすか芸術劇場(大劇場)					ヨコスカ・ペイサイド・ポケット(小劇場)				
		利用可能日数	利用日数	稼働率	利用件数	入場者数	利用可能日数	利用日数	稼働率	利用件数	入場者数
23年	4月	24	14	58.3%	15	7,218	25	11	44.0%	11	1,856
	5月	27	17	63.0%	18	23,624	28	19	67.9%	20	3,704
合 計		51	31	60.8%	33	30,842	53	30	56.6%	31	5,560
										合 計	36,402

(2) 時間貸施設

		大リハーサル室					小リハーサル室				
		利用可能日数	利用日数	稼働率	利用件数	利用者数	利用可能日数	利用日数	稼働率	利用件数	利用者数
23年	4月	27	8	29.6%	8	309	27	18	66.7%	21	282
	5月	29	15	51.7%	16	709	30	25	83.3%	38	817
合 計		56	23	41.1%	24	1,018	57	43	75.4%	59	1,099
										合 計	2,117

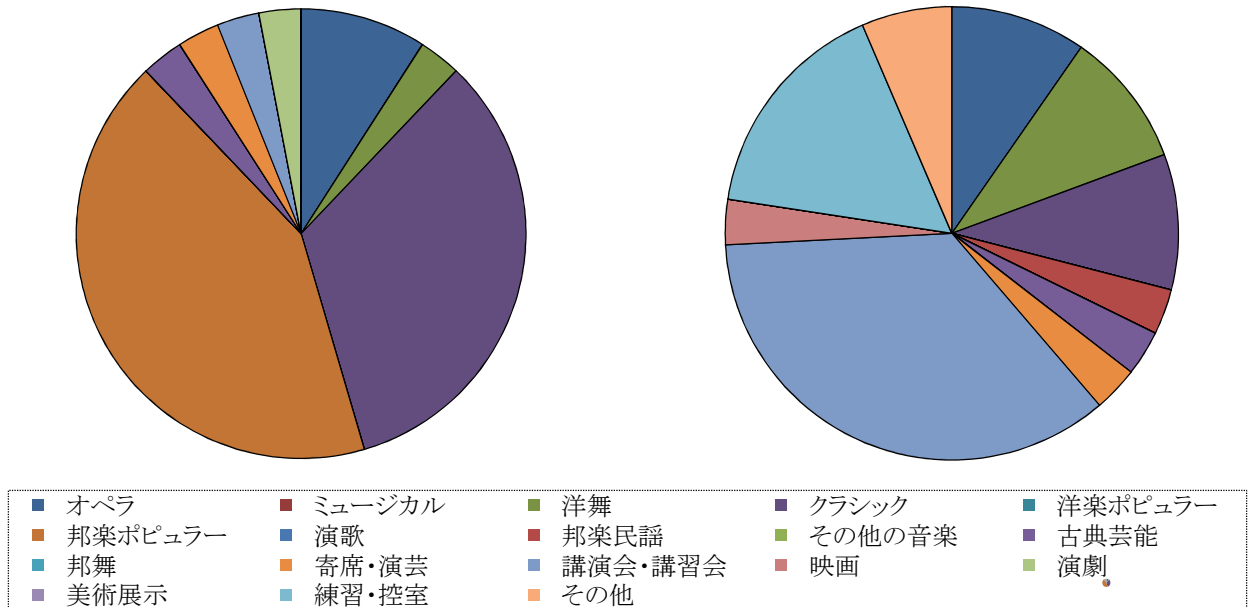
2 ジャンル別利用状況

(1) 区分貸施設

	よこすか芸術劇場(大劇場)				ヨコスカ・ベイサイド・ポケット(小劇場)			
	利用件数	公演数	比率	入場者数	利用件数	公演数	比率	入場者数
オペラ	3	2	9.1%	250	3	0	9.7%	0
ミュージカル	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
洋舞	1	1	3.0%	850	3	3	9.7%	1,014
クラシック	11	10	33.3%	12,746	3	3	9.7%	431
洋楽ポピュラー	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
邦楽ポピュラー	14	5	42.4%	9,018	0	0	0.0%	0
演歌	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
邦楽民謡	0	0	0.0%	0	1	1	3.2%	410
その他の音楽	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
古典芸能	1	1	3.0%	1,378	1	2	3.2%	525
邦舞	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
寄席・演芸	1	2	3.0%	3,000	1	1	3.2%	400
講演会・講習会	1	1	3.0%	1,200	11	10	35.5%	2,170
映画	0	0	0.0%	0	1	1	3.2%	280
演劇	1	2	3.0%	2,400	0	0	0.0%	0
美術展示	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
練習・控室	0	0	0.0%	0	5	0	16.1%	0
その他	0	0	0.0%	0	2	2	6.5%	330
合計	33	24	100.0%	30,842	31	23	100.0%	5,560

よこすか芸術劇場(大劇場)

ヨコスカ・ベイサイド・ポケット(小劇場)



(2) 時間貸施設

	大リハーサル室				小リハーサル室			
	利用件数	公演数	比率	利用者数	利用件数	公演数	比率	利用者数
練習・控室	24	-	100.0%	1,018	59	-	100.0%	1,099
合計	24	-	100.0%	1,018	59	-	100.0%	1,099